



第34回日本認知症学会学術集会 ランチオンセミナー 10

日時

2015年10月4日(日)
11:50~12:50

会場

リンクステーションホール青森
第3会場(4階 中会議室)

青森市堤町1-4-1

BPSD治療における 抑肝散加陳皮半夏の位置付け

座長

日本赤十字社 前橋赤十字病院 神経内科 部長

針谷 康夫 先生

演者

横浜新都市脳神経外科病院 認知症診断センター 部長

眞鍋 雄太 先生

本セミナーは整理券制です。

■配布時間:10/4(日) 8:00~10:30

■配布場所:リンクステーションホール青森 1F 玄関ホール
ホテル青森 3F 「孔雀の間」ホワイエ

※整理券はセミナー開始5分をもって無効となります。

BPSD治療における 抑肝散加陳皮半夏の位置付け

眞鍋 雄太 先生 横浜新都市脳神経外科病院 認知症診断センター 部長

殆どの認知症性疾患が、経過の中で何らかのBPSDを伴う。2000年にMcKeithが報告して以来、BPSD治療の第一選択にアセチルコリンエステラーゼ阻害剤 (AChEIs) が用いられるようになった。とはいえ、全ての症状にAChEIsが有効というわけではない。対象とする症状を選ぶのが実際である。Iwasakiらの報告以来、BPSD治療に抑肝散の頻用をみるが、加味方である抑肝散加陳皮半夏は、その薬理学的機序からさらなる有用性が期待されている。本講では、evidenceを背景に自験を通じ、同剤が対象とするBPSDの症状を詳説する。

略歴

平成13年 藤田保健衛生大学医学部卒業
平成19年 藤田保健衛生大学院内科系医学研究科博士課程卒業
平成19年 藤田保健衛生大学病院一般内科
平成21年 都立松沢病院内科
平成21年 東京都精神医学研究所神経病部門へ国内留学
平成23年 藤田保健衛生大学病院総合診療内科講師
平成24年 藤田保健衛生大学病院総合診療内科客員講師
平成25年 横浜新都市脳神経外科病院入職 認知症診断センター部長就任
平成25年 藤田保健衛生大学救急総合内科客員准教授

学会・専門医等

日本認知症学会専門医、日本認知症学会指導医、日本旅行医学会認定医、
レビー小体型認知症家族を支える会顧問